

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：消防防災課  
 担当名：災害対策担当  
 内線：8181

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B10	防災体制整備費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	防災体制整備費	
事業期間	平成 8年度～	根拠法令	災害対策基本法		戦略項目	05 大規模災害への備え			
					分野施策	010501 危機管理・防災体制の強化			
<b>1 事業概要</b> 大規模災害発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、県の初動体制の強化を図る。 (2) 職員の初動対応確保に要する経費 36千円 事務費の減額 (3) 待機体制に要する経費 12千円 事務費の減額 (4) 防災関連システムの維持管理 6,751千円 震度計の修繕箇所の減及び事務費の減額等 (6) 国、市町村、防災関係機関との連絡調整等事務費の減額 64千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 大規模災害等が発生した場合に、迅速かつ的確な災害対応を実施するため、県の初動体制の強化を図る。 ア 支部の災害対策活動に要する経費 238千円 イ 職員の初動対応確保に要する経費 1,370千円 災害発生直後における初動活動の強化(三県知事会が連携して行う住家の被害認定研修、災害活動要員用防災服の整備、危機管理防災ハンドブックの作成) ウ 待機体制の要する経費 1,266千円 災害が発生する前に危機管理防災部職員が行う待機班活動に要する経費 エ 防災関連システムの維持管理 105,766千円 「防災情報システム」及び「震度ネットワークシステム」の保守及び管理等 オ 震災対応通信設備 756千円 衛星携帯電話及び九都県市テレビ会議システムの通信費 カ 国、市町村、防災関係機関との連絡調整等 426千円 (2) 事業計画 ・災害対応のための待機班体制、情報収集体制、緊急体制、非常体制の実施 ・防災情報システム、震度情報ネットワークの維持管理 ・九都県市首脳会議、三県知事会等における連絡調整 (3) 事業効果 ・24年度 待機体制59回 ・25年度 待機体制63回 ・26年度 情報収集体制(台風)1回、情報収集体制(地震)1回、待機体制54回 (H26.9末現在) (4) その他 ・三県知事会で住家の被害認定調査の手法を標準化するため、大学の研究成果について検討及び実地の研修を行う。 ・損耗やサイズ切れによる防災服の補充等を行う。					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)				(5) 補正予算の概要 イ、ウ、カ：事務費の節減 エ：震度計の修繕箇所の減、契約差金発生に伴う減及び事務費の節減。					
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(包括算定) (区分)総務費 (細目)消防防災費 (細説)消防防災費 (内容)防災情報システム保守点検委託料 震度情報ネットワークシステム保守点検委託料									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×1名=9,500千円									
				<b>財 源 内 訳</b>					
予算額		諸収入						一般財源	補正後の 予算額
決定額	6,863						6,863	102,959	
現計額	109,822	2,434					107,388		